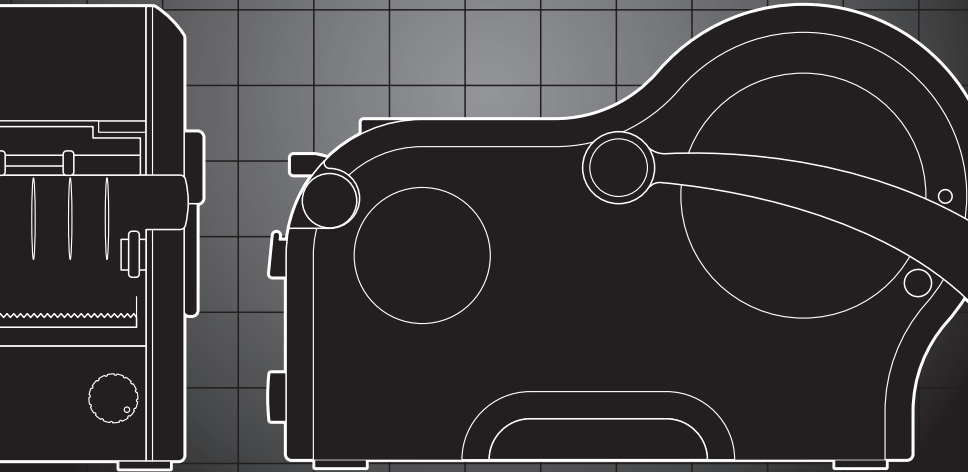


小型シール剥離機 S-70  
**シールメイトEXⅡ**  
取扱説明書



このたびは、弊社シールメイトEXⅡ〈S-70〉をお買い求めいただきまして、ありがとうございました。シールメイトEXⅡは広範囲のシールに対応した小型シール剥離機です。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 準備

安全上のご注意	3~9
各部の名称／電源の接続	10,11

## 操作

使い方	12~32
シールのセット	12,13
カバーを閉める／センサの調整	14
電源を入れる／シールを取る	15
シール送り速度、シールくり出し長さの調整	16~18
ハクリローラの設定	19
印字機モデルについて	20~21
スタンプのインキ補充について	22~25
バッテリーパックの充電	26,27
バッテリーパックの装着と取り出し方	28,29
連結動作について	30,31
ネーマ紙 25 $\mu$ について	32,33
透明PETについて	34,35
設定・表示について	36

## 清掃

清掃方法	37
------	----

## 参考

参考	38~43
基本仕様、使用できるシール	38
アフターフォローについて	39~41
トラブルシューティング	42,43

## ご注意

- 1.本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 2.本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成致しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店またはディーラーへご連絡ください。

# 安全上のご注意

本書は、本機をご使用時における安全について記載しております。  
本機をご使用になる前に必ずよくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書や本機の表示では、安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への損害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 表示例



この記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



この記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。



この記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

# 安全上のご注意

## 警告

### 水などの入った容器を置かない

本機の周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。

火災・感電の原因となります。

※こぼしたり中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに連絡してください。

### 内部に異物を入れない

本機の開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

※内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに連絡してください。

### 落としたり、破損したときは使用しない

火災・感電の原因となります。

※本機を落としたり破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに連絡してください。

### 異常な状態で使用しない

本機から煙が出ていたり、変な臭いがするなどの異常が発生したときは、使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに修理を依頼してください。  
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



 **警告****分解しないでください**

分解禁止

本機の分解や改造をしないでください。  
火災・感電の原因となります。

※内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに依頼してください。

**バッテリーパックについて**

分解禁止

バッテリーパックを分解しないでください。バッテリーパックに直接ハンダ付けを行うような改造もしないでください。  
発熱・発火・破裂の原因となります。



バッテリーパックを加熱したり、火の中に投入しないでください。ショートのある恐れのあることはいけません。  
発熱・発火・破裂の原因となります。



バッテリーパックへの充電は指定された専用の充電器で行ってください。  
発熱・発火・破裂の原因となります。

# 安全上のご注意



## ACアダプタ・バッテリーチャージャについて

指定された電源電圧以外は、使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



バッテリーチャージャは、指定以外のバッテリーパックを充電  
しないでください。  
火災・感電の原因となります。



コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また  
重いものを乗せたり、加熱したりしないでください。  
火災・感電の原因となります。



傷んだコードは使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。  
※販売店、ディーラーまたはサービスセンターに連絡してください。



コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ  
張ったりしないでください。  
火災・感電の原因となります。

 **注意****湿度が高い場所に、本体を置かない**

本機を湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。  
感電の原因となります。

※結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。

**電源について**

ぬれ手禁止

濡れた手で電源スイッチの操作やバッテリーパックの交換、ACアダプタ、バッテリーチャージャの抜き差しをしないでください。

感電の原因となります。

**バッテリーパックの交換について**

指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。



交換時は、入れる向きに注意し、正しく入れてください。  
破裂、液漏れによるケガや周囲を破損する原因となります。



小型充電式電池（リチウムイオン電池）について  
使用済みのバッテリーパックは、希少資源の有効利用のために、  
接点にテープでシールする等の絶縁処理を行ってから、  
処分方法を当社の営業またはサービス員へご相談ください。  
また、乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

# 安全上のご注意

## 注意



### 長時間使用しないとき

安全のためバッテリーパックを外し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。



### お手入れ・清掃のとき

お手入れや清掃を行うときは、安全のためバッテリーパックやACアダプタを外してから行ってください。

## 使用上のご注意

### 暑いところや寒いところに置かないでください

本機の使用温度範囲は5℃～35℃です。範囲外の場所や、湿度の高いところなどには置かないでください。

### 直射日光の当たる場所や、高温になる場所には置かないでください

特に夏場の車内（ダッシュボードなど）は高温になりますので注意してください。

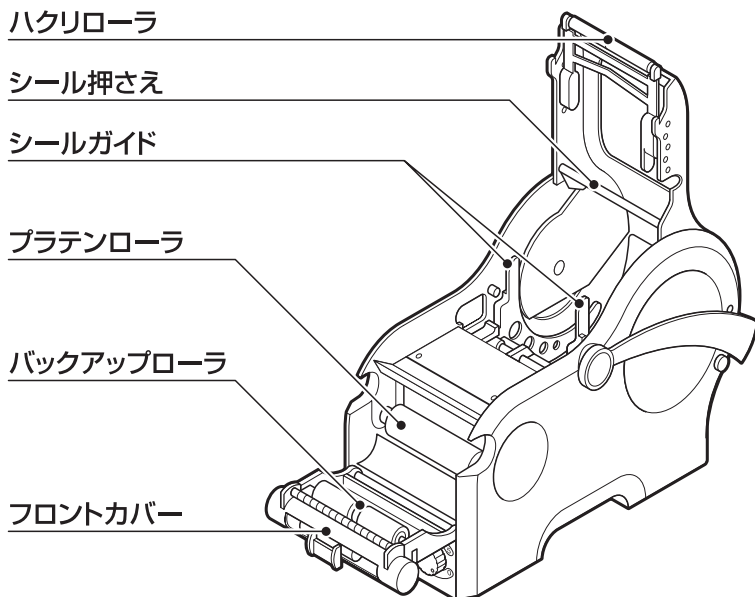
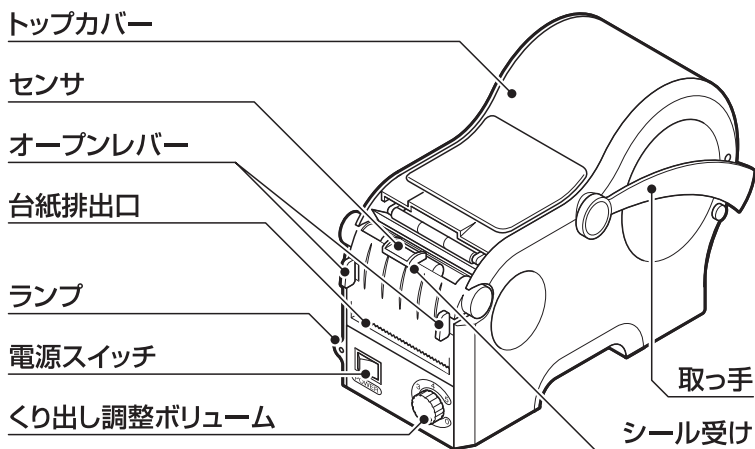
### オプションは必ず指定のものを使用してください

指定されたオプション以外のものを使用されますと、故障の原因となります。

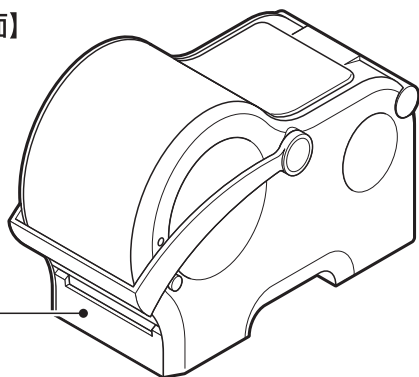
### 用紙は指定のものを使用してください

指定された用紙以外のものを使用されますと、ハクリ不良が発生する原因となります。

# 各部の名称／電源の接続

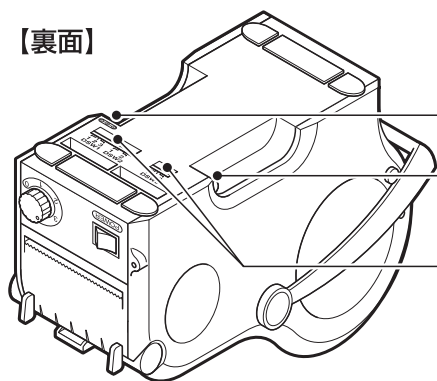


【背面】



バッテリー取出し口

【裏面】



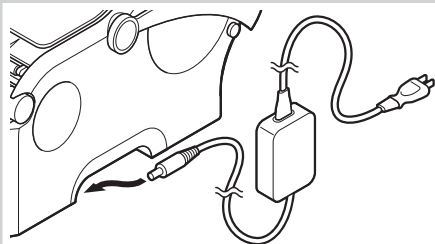
DC入力端子

ハクリ信号連結ケーブル端子

DSW (ディップスイッチ)

(36ページ参照)

## 電源の接続



電源スイッチが「切」であることを確認して、ACアダプタのジャックをDC入力端子に差し込んでください。

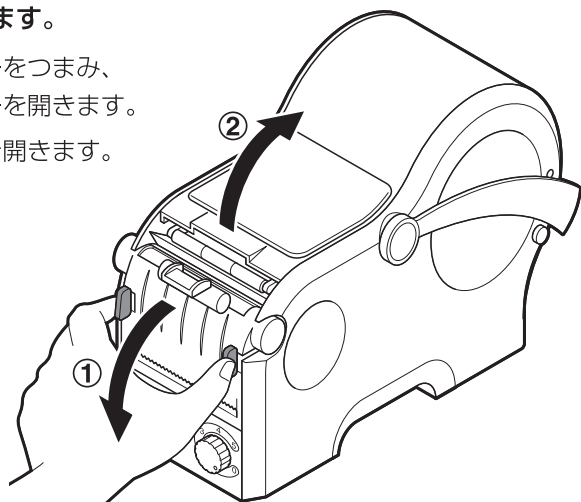
※ACアダプタは指定のものをご使用ください。

# 使い方

## シールのセット

### 1 カバーを開きます。

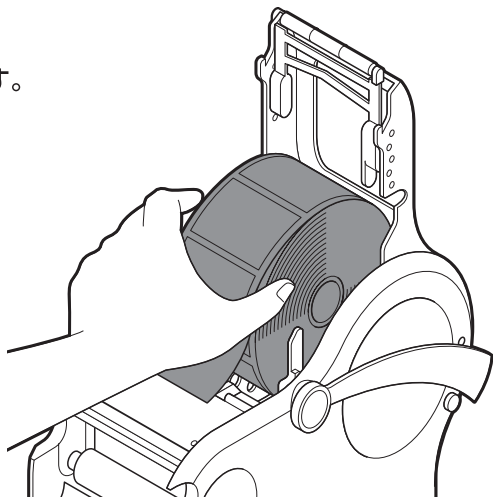
- ① オープンレバーをつまみ、フロントカバーを開きます。
- ② トップカバーを開きます。



### 2 シールをセットします。

※巻き方向に注意して  
セットしてください。

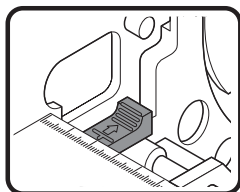
※シールメイトEXは  
表巻専用です。





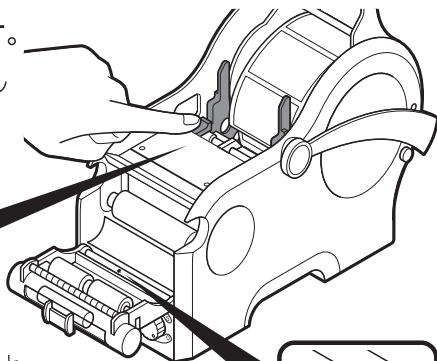
### 3 シールガイドを調整します。

シールの幅に合わせてシールガイドの位置を調整します。



紫色のロックを矢印の方向に押し、シールガイドを動かすことができます。

※シールとシールガイドの隙間には多少余裕を持たせて、シールが滑らかに回転できるようにしてください。



台紙排出口

### 4 シールを通します。

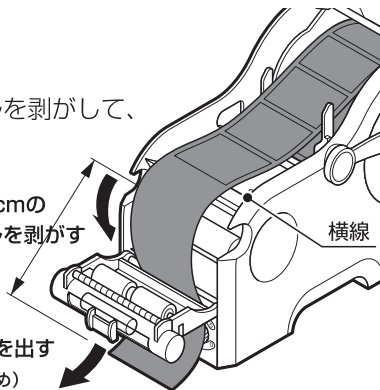
台紙先端部から約12cmのシールを剥がして、台紙排出口（⇩部）に通します。

※シールを剥がさないとシールづまりすることがあります。

約12cmの  
シールを剥がす

横線

排出口より約2～3cm台紙を出す  
(ローラーへの巻き込み防止のため)

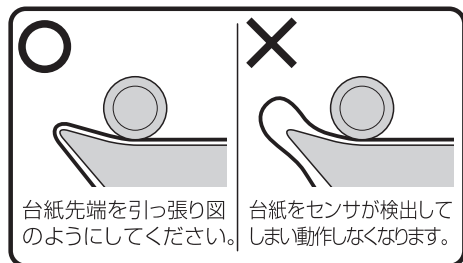


5 台紙からシールをはがした後の1枚目のシール先頭を、下図の横線の目印に合わせ、台紙をハクリ部先端で折り曲げます。

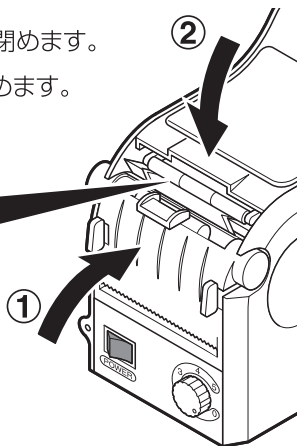
# 使い方

## カバーを閉める

- ① フロントカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。
- ② トップカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。



※両側のオープンレバーが確実にロックされていることを確認してください。

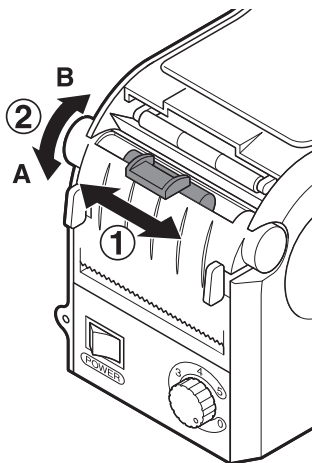


## センサの調整

センサを①方向に移動して、シールが検出できる位置に調整します。

シール受けの角度を②方向に回転できます。シールの材質や長さに合わせて角度を調整してください。

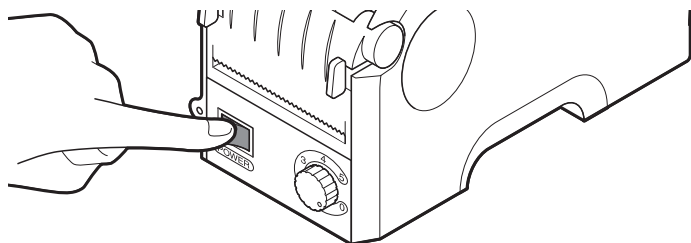
詳しくは「シール別推奨設定表」(19ページ)を参照してください。



## 電源を入れる

電源スイッチを押します。

電源スイッチ横のランプが点灯して、シールがくり出されます。



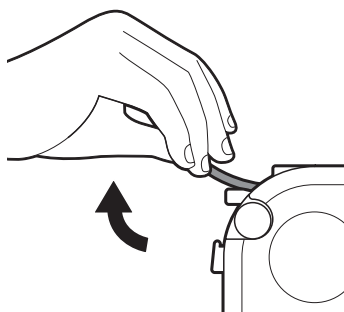
※シールがセットされていない状態、またはフロントカバーが開いた状態で電源を入れると保護機能が働き電源オフになりますので、再度セットし直した後電源を入れてください。

ランプの表示色と状態については、「設定・表示について〈ランプ表示〉」(36ページ)を参照してください。

## シールを取る

シールは上の方向にめくるように取ってください。

シールの後端部がハクリローラより後ろにある場合は、無理に引っ張らずに自動くり出しに合わせてシールをめくるように持ち上げてください。センサからシールが離れることにより、シールがくり出されます。



# 使い方

## シール送り速度、シールくり出し長さの調整

### ■ シール送り速度の調整

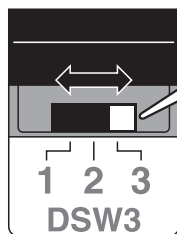
底面のDSW1で、シール送り速度を3段階に切り替えることができます。シールの材質、サイズによって推奨する速度が異なりますので、19ページの「シール別推奨設定表」を参照の上、設定を行ってください。

スイッチNO.	内 容	工場出荷時
DSW1	シール送り速度 1:110mm/s    2:80mm/s    3:50mm/s	2

※ディップスイッチの設定は、電源を切ったことを確認してから行ってください。

### ■ ディップスイッチ〈DSW〉の設定 (本体底面)

本体底面のDSW部ゴムカバーをめくり上げて、白いツマミをピンセットまたはペン先などでスライドしてください。



(ネーマ紙 25 $\mu$ 、透明PETを除く)

## ■ シールくり出し長さの調整

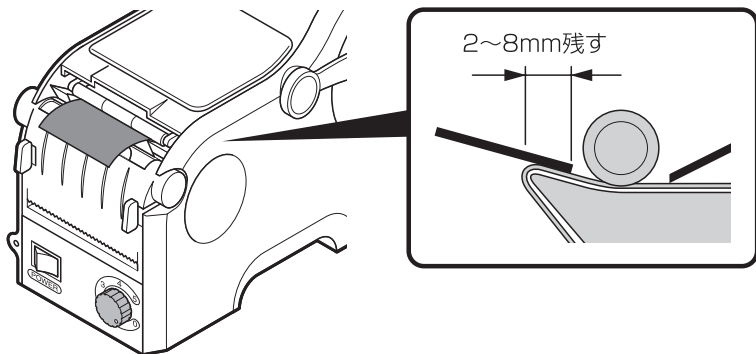
- ①シールピッチ (長さ) に合わせて、底面のDSW3の調整を行います。  
DSW3で、シールくり出し長さをだまかに3段階に切り替えることができます。詳しくは下記の調整目安表を参考にしてください。

スイッチNO.	内 容	工場出荷時
DSW3	シールくり出し長さ	
	1:100~150mm	2:50~100mm    3:10~50mm

※ディップスイッチの設定は、電源を切ったことを確認してから行ってください。

- ②くり出し調整ボリュームで、くり出し長さの細かな調整を行います。

ボリュームで調整するくり出し長さについては、18ページの調整目安表を参考にしてください。

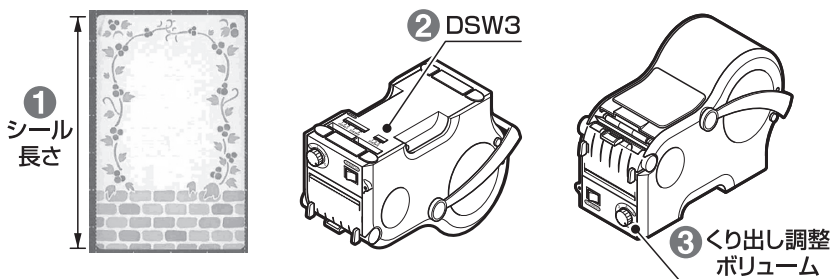


※シールが垂れ下がり、カバー前面に貼り付いてしまう場合には、シール長さに関係なくDSW3を「3」に設定し、くり出し長さを短くして自動くり出しに合わせてシールをめくるように持ち上げてください。

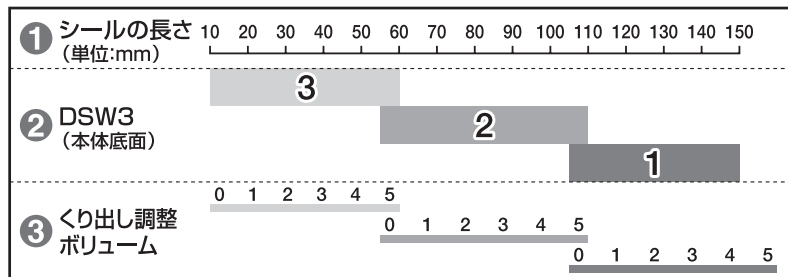
# 使い方

## シールくり出し長さの調整(つづき)

### 《シールくり出し長さの調整方法》



- ① 剥離したいシールの長さを確認します。
- ② 本体底面にあるDSW3を設定します。
- ③ くり出し調整ボリュームを合わせます。微調整はここで行ってください。



例) 長さ63mmのシールであれば、DSW3は2番、くり出し調整ボリュームは1前後です。

1台のシールメイトEXで複数のシールをご使用になるときは、それぞれの設定をメモしておくとう便利です。

ネーマ紙25 $\mu$ 、透明PETについては32~35ページを参照してください。  
DSW1については36ページを参照してください。

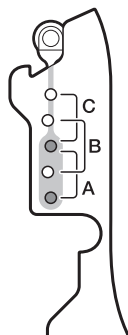
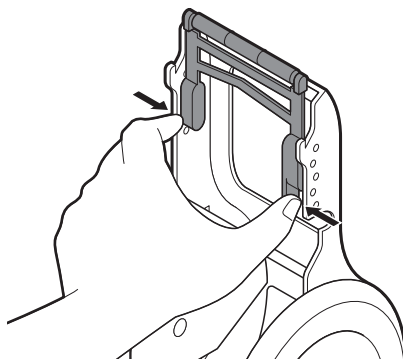
## ハクリローラの設定

ホルダを指先で内側に押せば取り外しできます。

ハクリローラの取付け位置を変更することにより、シールの排出角度が調整できます。一般的なシールはA側でご使用いただけます。シール先端がシール受けに引っ掛かるときには、B側にてご使用ください。

※詳しくは下記「シール別推奨設定表」をご参照ください。

ネーマ紙 25 $\mu$ 、透明PETをお使いの場合はC位置でご使用ください。詳しくは32～35ページを参照してください。



### シール別推奨設定表

シール種類	シール送り速度〈DSW1〉			ハクリローラ位置			センサ角度	
	1 (110mm/s)	2 (80mm/s)	3 (50mm/s)	A	B	C	A	B
一般的なシール 長さ10～25mm		○	○		○			○
一般的なシール 長さ25～150mm	○	○	○	○	○		○	
透明PET50 $\mu$ 、38 $\mu$			○			○	角度固定	
ネーマ25 $\mu$			○			○	角度固定	

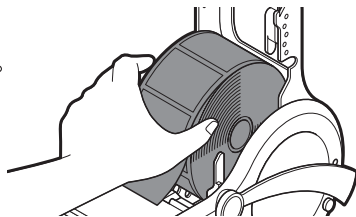
## 印字機モデルについて

印字機付では、上質紙を推奨しています。それ以外の材質では乾燥が遅くなったり、にじみが生じる恐れがあります。

### 《ラベルくり出し印字位置調整の初期設定方法》

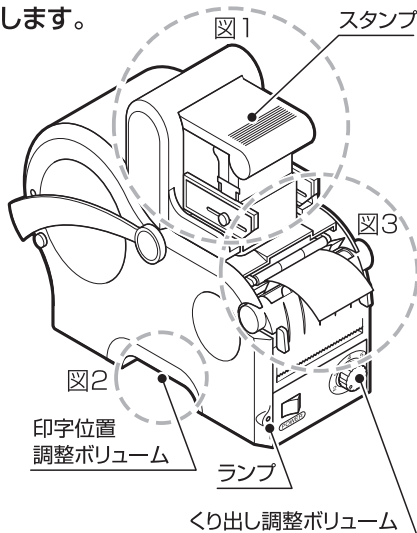
- 1** シールをセットします。  
電源が切れていることを確認します。

シールのセット方法は標準モデルと同じです。詳しくは12,13ページを参照してください。



- 2** シールのくり出し長さを調整します。

- ① 印字位置調整ボリュームは、おおよそ「2」に合わせておきます。
- ② 電源を入れます。この時点で印字位置は合っていないなくてもかまいません。  
(ランプは緑点滅に変わります。)
- ③ スタンプを押します。シールがくり出され、ハクリ位置で停止します。  
(ランプは緑点灯に変わります。)
- ④ シールを取ります。次のシールがくり出され、印字位置で停止します。  
(ランプは緑点滅に変わります。)



③～④を繰り返し、18ページを参照してハクリしたラベル後端が2～3mm台紙に残るようにします。

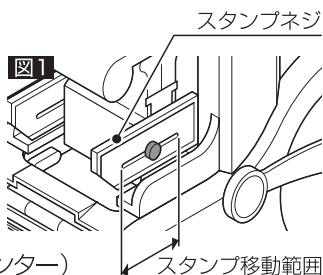


印字機モデルでは、シールに日付けを入れることができます。

### 3 印字位置を調整します。

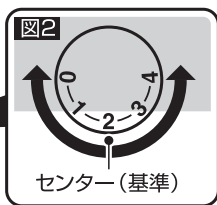
- ① スタンプを移動範囲中央付近にセットしておきます。(図1)

※スタンプは、スタンプネジを緩めることで移動できます。移動後はしっかり締めてください。

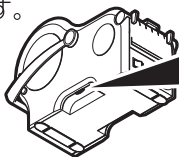


- ② 印字位置調整ボリュームをおおよそ2(センター)に合わせておきます。(図2)

2(センター)で印字した位置を基準にして、⑤以降の操作を行うとより簡単です。



- ③ スタンプを押します。印字され、シールはハクリ位置で停止します。(ランプは緑点灯に変わります。)



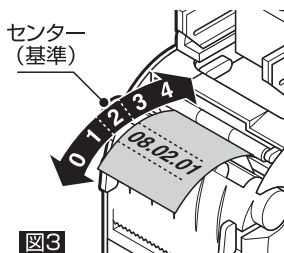
- ④ ハクリします。次のシールがくり出され、印字位置で停止します。

- ⑤ 細かな調整は、スタンプネジを緩めてスタンプを前後に移動し、印字位置を合わせます。

スタンプ位置の移動のみで希望する位置に合わない場合は、スタンプを再度センターにセットして印字位置調整ボリュームを回し、②～④操作を繰り返し大まかな位置を合わせます。

(印字位置調整ボリュームの回転方向は図2と図3を参照してください。)

印字位置の微調整はスタンプ取付位置で行います。



- 印字位置の調整がお済みになりましたらご使用できます。緑ランプ点滅時にスタンプを押して印字し、点灯に変わりましたらハクリしたシールをとることができます。

ランプについて詳しくは36ページを参照してください。

## スタンプのインキ補充について

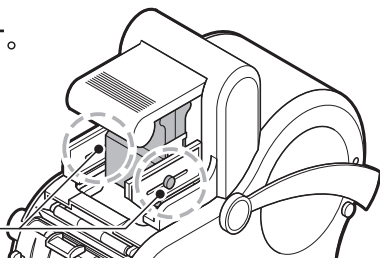
### 《初回のインキ補充方法》

初回のインキ補充の際は、本体からスタンプを取り外す必要があります。  
(インキ補充口についているネジを外す必要があるため)

#### 1 スタンプを本体から取り外します。

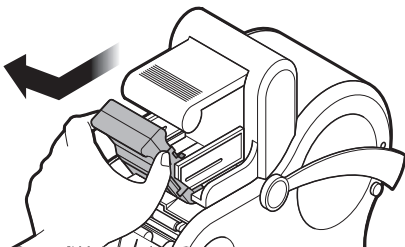
- ①スタンプの両側にあるスタンプネジを外します。

スタンプネジ (両側)



- ②両側に取り付けてある金具ごと前にスライドさせます。

- ③一番前までスライドさせたら、手前に傾けて本体から外します。



#### 2 インキを補充します。

スタンプ右下にある補充口ネジを取り、インキ補充口からインキを補充します。

金具 (両側)

インキ補充口

● 補充口ネジ

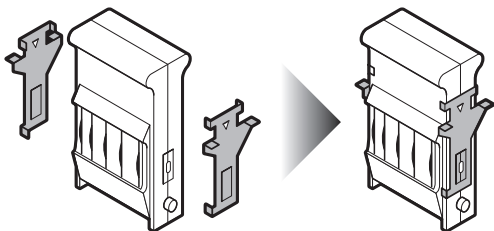
※必ず指定の補充インキをお使いください。

詳しい補充方法は、同梱されているスタンプの取扱説明書をご覧ください。

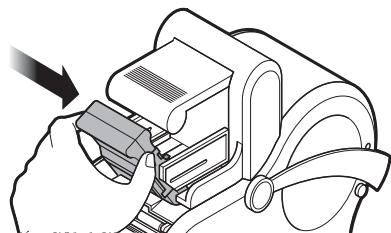
### 3 スタンプを本体に取り付けます。

インキの補充が終わりましたら、補充ロネジは取り付けず、そのままスタンプを再び本体にセットしてください。2回目以降のインキ補充を、スタンプを本体にセットしたまま行えます。

- ① スタンプの両側に金具を取り付けます。

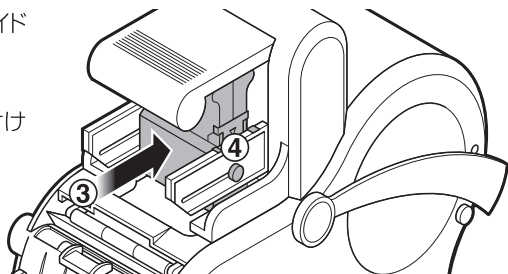


- ② 両側の金具が外れないように押さえながら、スタンプ下部を本体に差し込みます。



- ③ 所定の位置までスライドします。

- ④ スタンプネジを取り付けます。



# 使い方

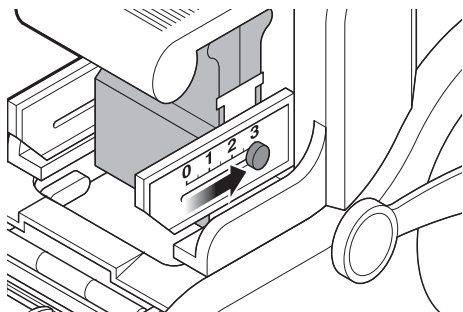
## スタンプのインキ補充について(つづき)

### 《2回目以降のインキ補充方法》

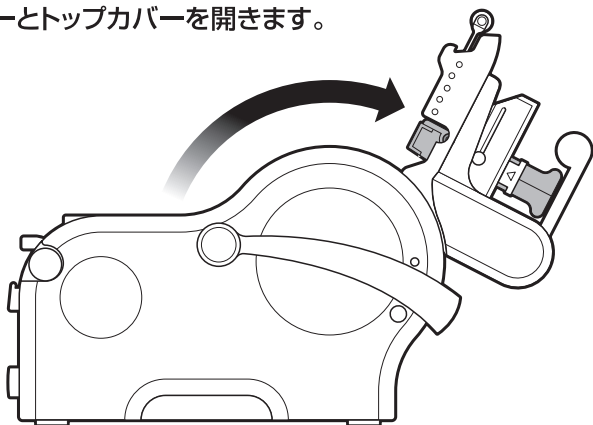
初回のインキ補充の際にネジを外しておく、2回目以降はスタンプを本体にセットしたまま補充できます。

- 1 スタンプを支えている両側のネジを緩め、本体の奥にスライドします。

スタンプを一番奥に移動する  
(目盛り「3」まで)



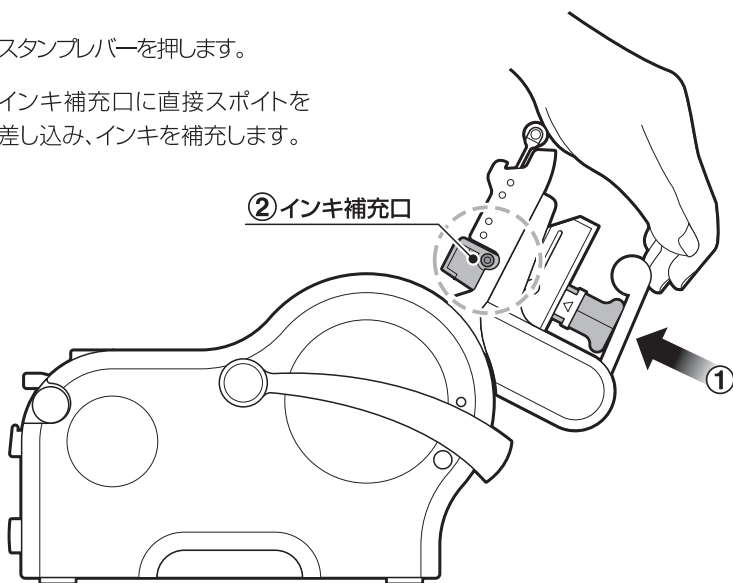
- 2 フロントカバーとトップカバーを開きます。



### 3 インキを補充します。

スタンプレバーを押さえると、トップカバー右側面の溝からインキ補充口が現れます。そこに補充インキのスポイトを直接差し込み、補充します。

- ① スタンプレバーを押します。
- ② インキ補充口に直接スポイトを差し込み、インキを補充します。

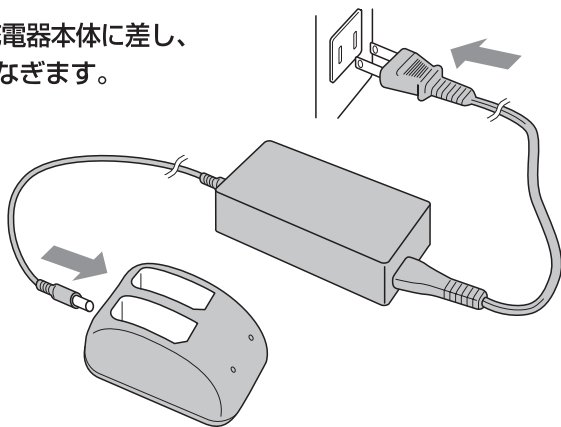


# 使い方

## バッテリーパックの充電

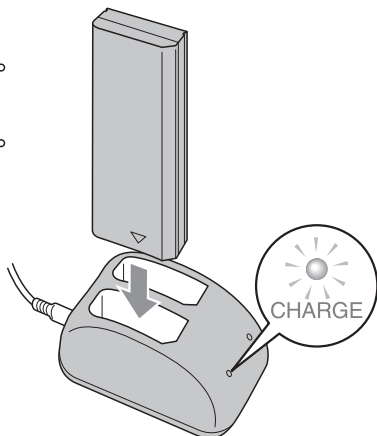
バッテリーチャージャー（オプション）にバッテリーパックを差し込んで充電します。

- 1 ACアダプタを充電器本体に差し、コンセントにつなぎます。



- 2 バッテリーパックを差し込みます。バッテリーパックの端子を下にして、挿入口に合わせて入れます。

- 充電が始まると、充電ランプ（赤色）が点灯します。
- 充電が終了すると、充電ランプ（緑色）が点灯します（満充電）。

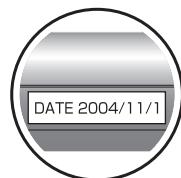


- 3 充電が終了したら、バッテリーパックを取り出します。

## 知っておいていただきたいこと

- 充電ランプが点灯しないときは、バッテリーパックがしっかり取り付けられているか確認してください。  
しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了しているバッテリーパックを取り付けたときは、一旦赤色（充電中）が点灯する場合がありますが、緑色（満充電）に変わります。
- 長い間放置したバッテリーパックを充電すると、充電ランプがしばらく点滅することがありますが、そのまま充電を続けてください。  
しばらく充電を続けても点滅している場合は、バッテリーパックを交換してください。
- バッテリーパックの寿命は、充電回数約300回（常温使用時）です。  
満充電してもすぐにバッテリーがなくなるときは、バッテリーパックを交換してください。

※バッテリー側面のステッカに、バッテリー購入日を油性ペンで記入することで、バッテリー充電回数（寿命）の目安となります。（例：購入日2004年11月1日）



### 充電時間について

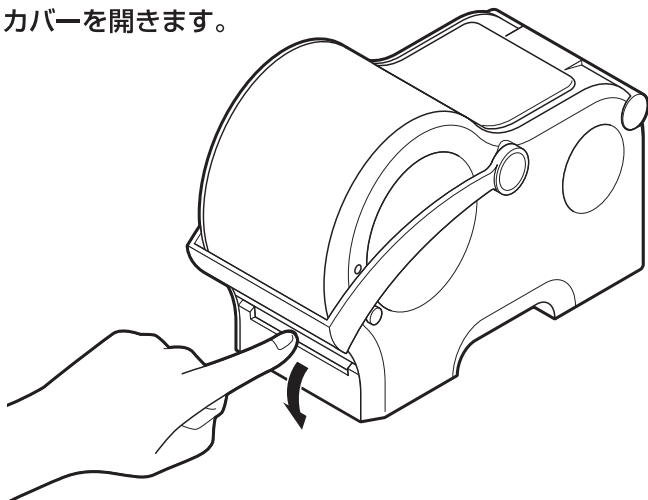
バッテリーパック容量が、空の状態から充電が完了するまでに、1個約90分、2個で約130分かかります。

（充電時間は、使用環境により異なります。）

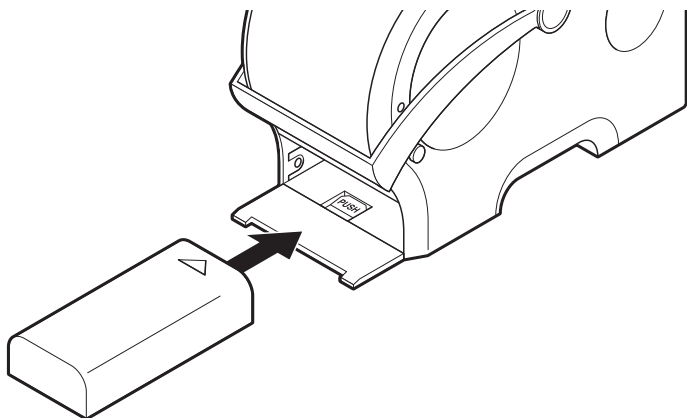
# 使い方

## バッテリーパックの装着と取り出し方

- 1 バッテリーカバーを開きます。



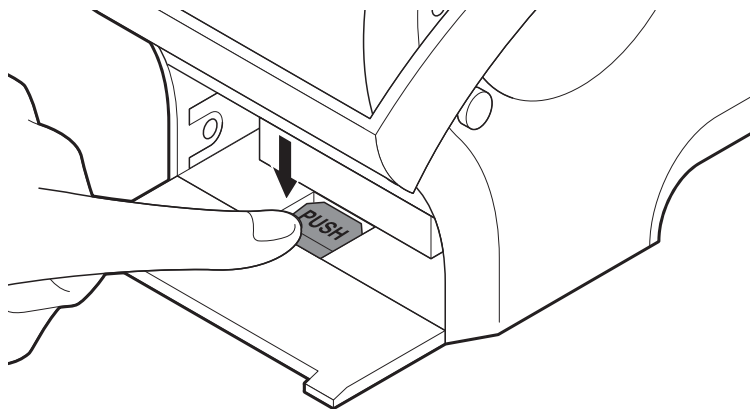
- 2 バッテリーパックを差し込みます。  
バッテリーパックの向きに注意してセットしてください。





バッテリーパック（オプション）を使用すると、家庭用電源がお近くに無い場合でもシールメイトEXをご利用いただけます。

- 3** バッテリーパックを取り出すときは、バッテリーロックを押し下げて、取り出してください。



### ⚠ 注意

- バッテリーパックの取り出しや交換の際は、必ず電源をオフにしてください。
- シールメイトEXを長時間使用しないときは、バッテリーパックを必ず外してください。  
装着したまま放置するとバッテリーが過放電し、充電できなくなることがあります。
- バッテリーパックを保管するときは、高温になるところには置かないでください。

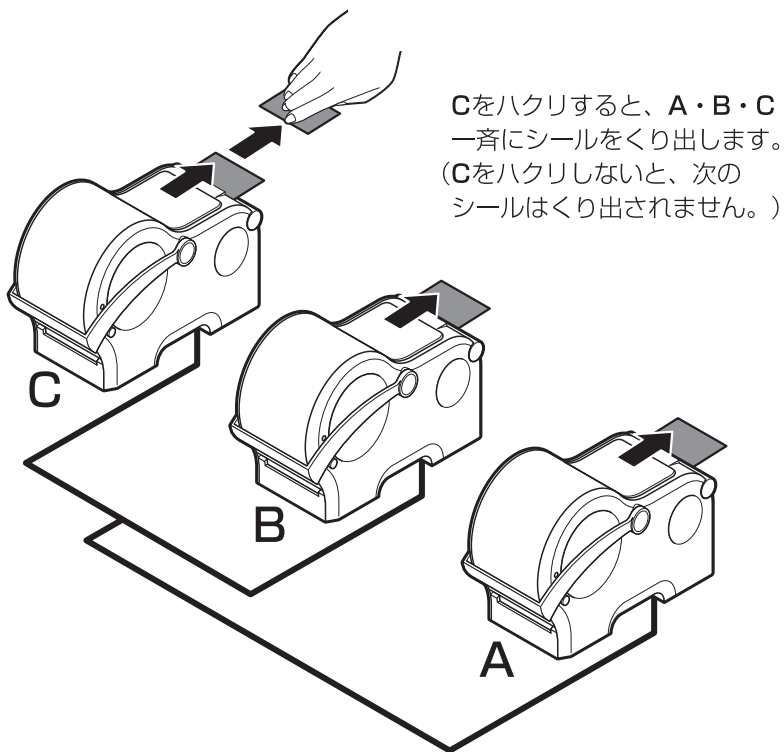
# 使い方

## 連結動作について

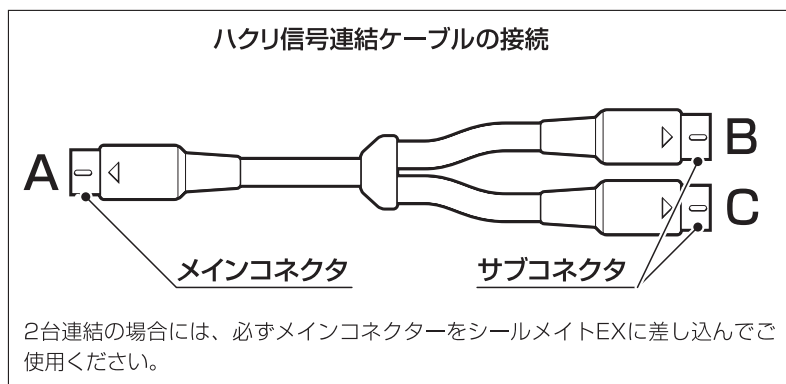
シールメイトEXを連結すると、すべてのシールを取らないと、次のシールがくり出されなくなります。シールの貼り忘れ防止にお役立てください。

ハクリする順番は関係なく、最後の1枚をハクリすることにより、3台一斉にくり出しを開始します。

- 例) ●A→B→Cの場合は、Cをハクリすると3台一斉にくり出しを開始します。  
●C→A→Bの場合は、Bをハクリすると3台一斉にくり出しを開始します。



ハクリ信号連結ケーブル(オプション)を使用すると、シールメイトEXを3台まで連結動作させることができます。



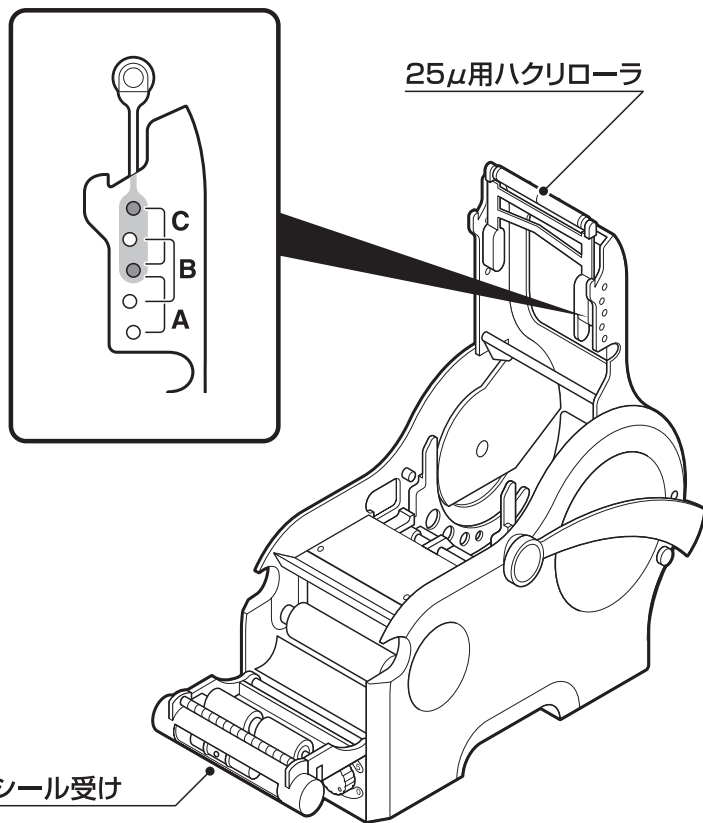
※印字機モデルでは連結動作はできません。

※連結しても各シールメイトEXに電源は必要です。

# 使い方

## ネーマ紙 25 $\mu$ について

ネーマ紙  
25 $\mu$ について

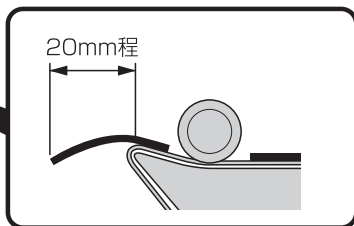
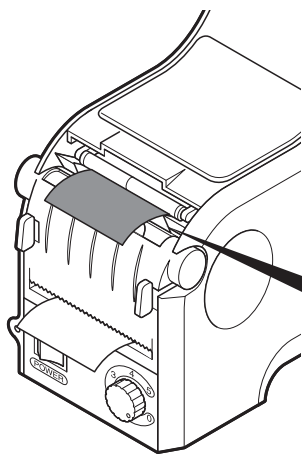


ハクリローラはC位置でお使いください。

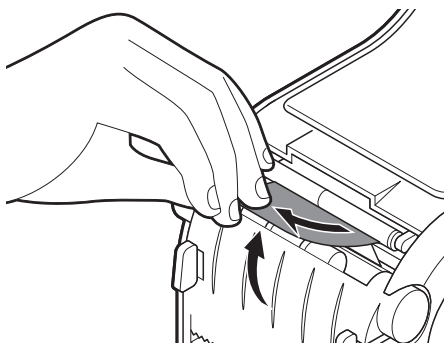
ネーマ紙 25 $\mu$ は、  
幅が50mm以下のシールをご使用ください。

ネーマ 25 $\mu$ キット (オプション) を使用すると、  
ネーマ紙 25 $\mu$ などの薄くてハクリしにくいシールもご利用いただけます。

※多列取りのシールはご使用になれません。



ネーマ紙 25 $\mu$ は長くくり出すと垂れ下がり、本体に貼り付いてしまいます。くり出し長さは20mm程に調整して、シールを手で持ちながら自動くり出しに合わせてお取りください。



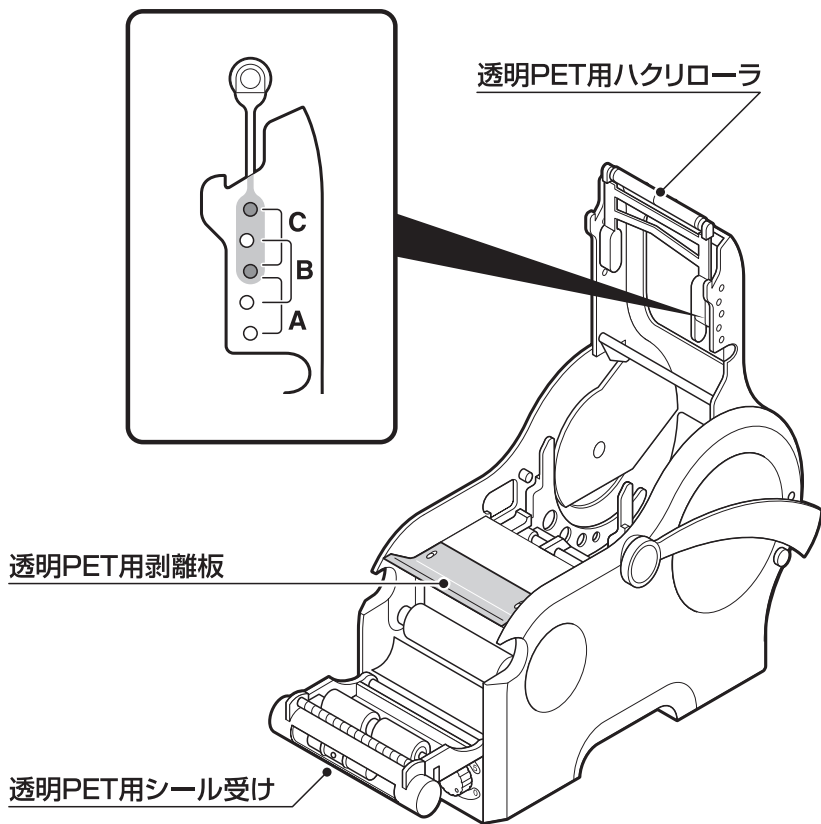
シール送り速度は、50mm/sに設定してください。(DSW1-3)  
詳しくは「シール別推奨設定表」(19ページ)を参照してください。

※ネーマ紙 25 $\mu$ は、シールの長さに関係なくDSW3を「3」に設定してご使用ください。

# 使い方

## 透明PETについて

透明PETについて

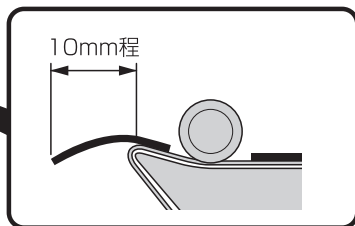
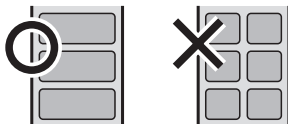
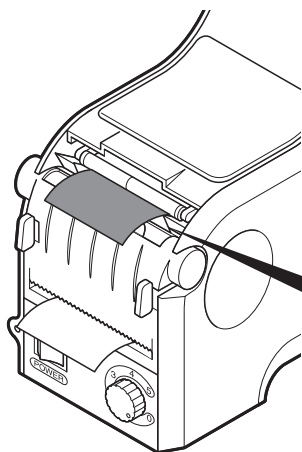


ハクリローラはC位置でお使いください。

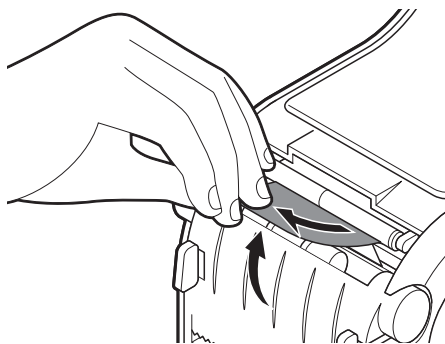
透明PETは、  
幅が50mm以下・長さ80mm以下のシールをご使用ください。

透明PETキット(オプション)を使用すると、50 $\mu$ 、38 $\mu$ などの薄くてハクリしにくいシールもご利用いただけます。

※多列取りのシールはご使用になれません。



透明PETは長くくり出すと垂れ下がり、本体に貼り付いてしまいます。くり出し長さは10mm程に調整して、シールを手で持ちながら自動くり出しに合わせてお取りください。



シール送り速度は、50mm/sに設定してください。(DSW1-3)  
詳しくは「シール別推奨設定表」(19ページ)を参照してください。

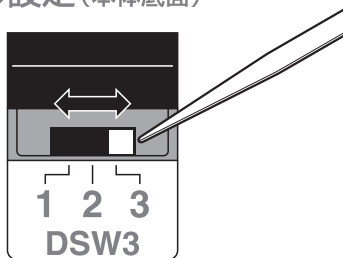
※透明PETは、シールの長さに関係なくDSW3を「3」に設定してご使用ください。

# 使い方

## 設定・表示について

### ■ ディップスイッチ〈DSW〉の設定 (本体底面)

本体底面のDSW部ゴムカバーをめくり上げて、白いつまみをピンセットまたはペン先などでスライドしてください。



スイッチNO.	内 容	工場出荷時
DSW1	シール送り速度 1:110mm/s 2:80mm/s 3:50mm/s	2
DSW2	オートパワーオフ 1:切 2:入	1
DSW3	シールくり出し長さ 1:100~150mm 2:50~100mm 3:10~50mm	3

※DSWの設定は、電源を切ったことを確認してから行ってください。

※オートパワーオフ:5分間操作しないと、電源オフ(待機状態)になります。

### ■ ランプ表示

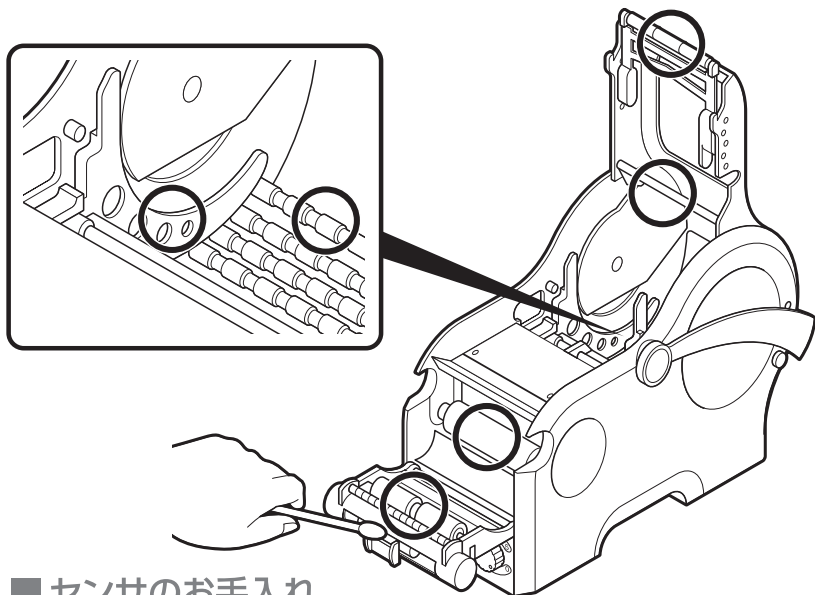
機種	ランプ	状態
標準モデル	緑「点灯」	電源オン
印刷機モデル	緑「点滅」	印字待ち状態→印字してください。
	緑「点灯」	くり出し完了→シールが取れます。

オプションのバッテリーパックをご使用いただいている場合に、バッテリーの残量が少なくなると、ランプは緑から赤に変わります。早めに満充電されたバッテリーに交換してください。



# 清掃方法

快適に作業していただくために定期的な清掃をおすすめします。



## ■ センサのお手入れ

センサの表面が汚れると誤動作する場合があります。綿棒などできれいにしてください。

## ■ プラテンローラ・シールガイド・ハクリローラ・シールローラ バックアップローラのお手入れ

糊や紙粉が付着すると誤動作や送り不良の原因となる場合があります。別売のプリンタ用クリーニングセットをご使用になると便利です。

## ■ 外側のお手入れ 外側は中性洗剤をご使用ください。



**注意**

- 清掃を行う際は、必ず電源をオフにしてください。
- シンナーやアルコールは使用しないでください。

## ■ 基本仕様

項 目	内 容
寸法	標 準モデル：幅107mm×奥行260mm×高さ170mm 印字機モデル：幅107mm×奥行260mm×高さ220mm
重量	標 準モデル：1,550g (バッテリー含まず) 印字機モデル：1,950g (バッテリー含まず)
電源	・ 付属ACアダプタ    ・ バッテリーパック (オプション)
シール送り速度	最大110m/s (但し使用環境・シールサイズ・シール材質等により異なります)
適用シール	シール幅：15～70mm (台紙幅18～73mm) ただし、ネーマ紙 25 $\mu$ 透明PETは15～50mm (台紙幅18～53mm)
	シール長さ：10～150mm ただし、透明PETは10～80mm
	紙管内径：最小25mm
	シール巻き外径：最大115mm
低消費電力機能	オートパワーオフ (5分間無操作により電源オフ)
保護機能	空運転 (シール無し状態) 時自動停止
	ローバッテリー検知による自動停止
オプション	バッテリーパック・バッテリーチャージャ・ハクリ信号連結ケーブル

## ■ 使用できるシール

- キャストコート紙    ●透明PET38 $\mu$ 、50 $\mu$ \*1、\*2    ●ネーマ紙50 $\mu$
- 普通紙(上質紙)    ●ホイル紙    ●合成紙    ●ネーマ紙25 $\mu$ \*2

\*1.材質によりセンサが検出しにくい場合がありますのでご相談ください。

\*2.別途専用キット (オプション) が必要です。

それぞれに厚さ、剛性、糊質などの指定がありますので、サトー純正品で、シールメイトEX用と必ずご指定ください。ご不明な点は販売店にご相談ください。

\*仕様によって上記の材質でも剥離できない場合がありますので、ご相談ください。

## アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

### サービスの種類

	交換部品	技術料
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <http://www.sato.co.jp> でご確認ください。）

### 保守サービスの内容

持込み 保守	センドバック 保守	故障が発生した場合は用紙をセットした状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサービスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいで、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。
-----------	--------------	--

出向保守はございません。

同梱されている保証書登録カードの返送、またはサトーホームページからの「オンラインユーザー登録」をお願いいたします。

返送または登録いただくことで、保証期間中に発生した剥離機の障害について無償修理をお約束し、迅速な保守対応を提供いたします。

## アフターフォローについて

### 保守サービスの説明

#### 保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査しお届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6ヵ月間を保証期間として無償修理を行っております。

機種により保証条件が異なることがありますので、詳しくは保証書をご覧ください。

#### 銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

#### 登録データについて

修理を依頼される場合は、機械に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・データ等）は、機械修復作業時にデータ・ソフト等の復旧ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

特に預かり・持ち込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

## 保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

### フルメンテナンス サービス

#### 1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては一年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

#### 2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

### 保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年を超える保守契約サービスについては、基準別にしたがい個々にお見積りいたします。

## スポットサービスの説明

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますがご了承ください。スポットサービスを実施した場合、サービス料金に基づき保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますようお願いいたします。

## トラブルシューティング

本機がうまく動かないときは、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

こんなときは	確認してください	対 策	参照頁
電源スイッチを入れても動かない	センサに飛び出た台紙がかかっていますか？	センサの上に台紙がかかぶらないようにして下さい。	P14
	センサにラベルや糊などが付着していますか？	センサの表面を清掃して下さい。	P37
	ACアダプタはしっかりとセットされていますか？	ACアダプタをしっかりと差し込んで下さい。	P11
電源が勝手に切れる	オートパワーオフ機能がONになっていますか？	DSW2でOFFにすることが出来ます。(出荷時はOFFになっています)	P36
	シールは正しくセットされていますか？	機械の保護のため、空運転時自動停止機能が作動することがあります。	P38
シールの送り量が一定しない、遅い	ゴムローラーに紙粉や糊が付着していますか？	ゴムローラーを清掃して下さい。	P37
	外径115mm以上シールを巻いていますか？	仕様外ですので115mm以内でご使用ください。ネーマ25μ、透明PETの場合は、最大シール幅50mmまでです。	P38
電源を入れても空回りする	ゴムローラーに粉が大量に付着していますか？	ゴムローラーが粉で滑って、台紙を引っ張れなくなっていることが考えられます。ゴムローラーを清掃して下さい。	P37
剥離しても次のシールが出てこない	シールを前に引っ張ることににより台紙が飛び出てセンサにかぶっていますか？	台紙が動かないようシールを上方向に取って下さい。	P14
シールが剥離されず、ローラー部分に巻き込まれてしまう	シールの材質、サイズはシールメイトEXで使用できるものですか？	材質によっては、剥離しやすく加工することが難しいものがあります。販売店にご相談下さい。	P38
	サトー純正シールをお使いですか？	サトー純正シールをご使用下さい。シールをご用命の際は必ず「シールメイトEX用」とお伝え下さい。 シールの型抜きの際に刃型が台紙に深く入りすぎると、剥離が難しくなります。純正シールにも関わらず剥離できない場合は、材質、サイズをご確認の上お問合せ下さい。	P38
剥離が止まらない	センサがシールを検知できる位置にセットされていますか？	センサがシールの下に来る位置にセットして下さい。	P14
	センサ角度は正しくセットされていますか？	センサ角度を正しい位置にセットして下さい。	P14
	シールくり出しボリュームの設定値は、シールサイズにあっていますか？	取扱説明書にしたがって、シールピッチにあったくり出しボリュームに設定しなおして下さい。	P18

停止状態のはずのシールが、勝手にくり出されてしまう	剥離されたシールが風などで揺れていませんか？	センサーは、センサー上部の遮りでシールの有無を判断し、シールをくり出す仕組みです。透明PETなどのコシの強いシールは特に剥離後に反り返るため、センサー上の光を遮れずに次のシールがくり出されてしまう原因になります。くり出し量を少なくし、センサー上のシールのぶれを減らして下さい。	P14
台紙がローラーに巻きついてしまう	シールをセットするとき、台紙排出口から台紙を2~3cm以上出していましたか？	台紙巻き込み防止のため、シールセット時には必ず台紙排出口から台紙を2~3cm以上出して下さい。	P13

### 《印字機付き》

こんなときは	確認してください	対 策	参照頁
設定したはずの長さで剥離されない	電源スイッチ横の緑のランプが点滅していませんか？	緑のランプの点滅は印字待機状態であることを示しています。適正な印字位置で停止している状態ですので、スタンプが押されれば剥離位置までシールがくり出されます。(ランプは点灯に変わります)	P20
インキがシールに上手くのらない	シールの材質は適正ですか？	印字機付きで推奨している材質は上質紙のみです。それ以外の材質では乾燥が遅くなったり滲みが生じる恐れがあります。	P22
印字が薄い	インキの補充時期ではありませんか？	半日くらいつ印せずに放置しておいた後の初なつ印の印影が極端に薄いようであれば、インキの補充時期です。補充の際は必ず指定の補充インキを使用して下さい。(詳細は同梱のスタンプ取扱説明書を参照して下さい。)	P22
印字が不鮮明	スタンプが磨耗していませんか？	印面が目詰まりしているときは清掃して下さい。(詳細は同梱のスタンプ取扱説明書を参照して下さい。)スタンプの印面が磨耗していたら、スタンプをお買い替え下さい。シャチハタ製「XStamper 回転印 欧文日付 4号 XNFD-4」です。最寄りの文具店等でお買い求め頂けます。	P22

《バッテリー》バッテリーのトラブルシューティングはP23をご参照下さい。

### 《連結機能》

こんなときは	確認してください	対 策	参照頁
連結ケーブルでつないでも動作しない	ケーブルはしっかり繋がっていますか？	ケーブルを端子にしっかりと差し込んで下さい。	P30
	(2台連結の場合)メインコネクタをシールメイトEXIに繋ぎましたか？	メインコネクタを必ずシールメイトEXIに差し込んで下さい。	P30
	各シールメイトEXIに電源は用意しましたか？	連結しても各シールメイトEXIに電源がないと動作しません。各シールメイトEXIに電源を用意して下さい。	P30
	印字機モデルではありませんか？	印字機モデルでは連結動作は出来ません。	P30

**AVATO**  
DCS & Labeling Worldwide

